



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 第43回通常総会
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ
改訂4版2018出版のご案内
- 補助金制度のご案内
- 【予告】農薬科学研究奨励金
- 次期役員候補者の推薦受付について
- 平成31年・32年度日本農薬学会役員選挙について
- 日本農薬学会第44回大会の御案内
- 日本農薬学会第44回大会における広告、展示およびランチョンセミナー募集のご案内

平成29年度 第6回常任評議員会議事録

日 時：平成30年4月14日（土）13:00～17:10
 場 所：日本植物防疫協会 地下会議室
 出席者：出席者 16名（含第43回大会組織副委員長），欠席者2名

議 事：

- I. 平成29年度第5回常任評議員会議事録の確認
- II. 経過報告および議案
 1. 財務関係
 - ・平成30年度収支決算（1月1日～3月31日）について報告があった。
 - ・平成29年度会計の監査について報告があった。
 2. 編集委員会
 - ・平成30年4月7日までの投稿審査状況が報告された。
 - ・JPSと和雑誌での企画、今後の発刊予定について説明があった。

- ・JPSのPubMed掲載申請の状況について報告があった。
- 3. 学術・技術支援委員会
 - ・「農薬を知ろう」Webサイトの確認作業について報告があった。
 - ・残留分析セミナーの開催予定について報告があった。
 - ・Q & A集第4版について、販売促進への協力要請があった。
 - ・講師派遣について報告された。
 - ・大会講演要旨データベースの完成について報告があった。
 - ・研究奨励金の内定通知について報告があった。
- 4. 学術小集会関係
 - ・委員名簿の記載方法について検討した。
- 5. 日本農学会関連報告
 - ・第89回日本農学会の開催報告があった。
 - ・来年度シンポジウムのテーマの提案について依頼があった。
- 6. 研究会等の協賛について
 - ・1件の協賛依頼について承認した。
- 7. 国際学会の渡航費補助について
 - ・学会開催期間、申請締切日、予算について確認した。
- 8. 役員・評議員選挙について
 - ・郵送投票の廃止に関する規定の改定について検討した。
- 9. 第43回大会関係
 - ・大会準備の進捗状況について報告があった。
 - ・第44回評議員会資料および進行について検討した。
 - ・第43回通常総会資料および進行について検討した。
 - ・学生優秀発表賞の選考について検討した。
- 10. 入退会の報告
 - ・入退会について報告があった。
- 11. その他
 - ・公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター解散の報告があった。
 - ・Pacificchem2020のテーマについて報告された。

平成29年度 第7回常任評議員会議事録

日 時：平成30年5月24日(木) 14:00～15:10

場 所：カレッジプラザ小講義室3

出席者：出席者 17名（含第43回大会組織副委員長），欠席者1名

議 事：

- I. 平成29年度第6回常任評議員会議事録の確認
- II. 経過報告および議案

1. 大会関係

- ・第43回大会準備状況について報告があった。
- ・第44回評議員会資料及び進行について確認した。
- ・第43回通常総会資料及び進行について確認した。

2. 財務関係

- ・收支予算（平成30年1月1日から5月10日まで）について報告があった。

3. 編集委員会

- ・編集委員会活動について報告があった。

4. 学術・技術支援委員会（旧環境委員会）

- ・第1回学術・技術支援委員会を行った。
- ・残留農薬セミナーの開催日程について報告があった。
- ・「残留農薬分析 知っておきたい問答あれこれ」について報告があった。
- ・講師派遣について報告があった。
- ・農薬科学研究奨励金の成果報告書について報告があった。

5. 将来計画委員会

- ・将来計画について検討した。

6. 学会賞受賞者選考委員会

- ・日本農学進歩賞、日本農学賞候補者の推薦について確認した。
- ・学会賞受賞候補者の選抜方法について確認した。

7. 植物保護科学連合

- ・シンポジウムの開催について報告があった。

8. 研究会の後援・協賛について

- ・3件の協賛依頼について承認した。

9. 国際学会の渡航費補助について

- ・1件の申請について、補助を決定した。

10. 入退会の報告

- ・入退会について報告があった。

平成30年度 第1回選挙管理委員会議事録

日 時：平成30年7月5日(木) 午後3時～4時15分

場 所：日本植物防疫協会

出席者：出席者 5名（含常任評議員総務担当2名），欠席者1名

議 事：

1. 日本農薬学会役員選挙規定を確認した。
2. 日本農薬学会選挙規定改定を確認した。
3. 第23期日本農薬学会役員選挙日程案を確認した。

第44回編集委員会議事録

日 時：平成30年5月24日(木) 15時15分～16時15分

会 場：秋田市カレッジプラザ、講堂

出席者：29名

議 事：

- 1) 平成29年の掲載状況、投稿審査状況（総会資料参照）
論文投稿の現状が報告された。2017年1月1日から2018年1月28日まで119編の投稿があった。日本からは30編、その3倍の論文（89編）が海外から投稿された。海外からの投稿で多いのは中国であるが、最近エジプト、インドからの投稿も増加している。ただ、大半の投稿論文が投稿規定に従っておらず、差し戻しが多い。中国（18）、エジプト（17）、インド（12）、イラン（6）、マレーシア（5）、インドネシア（4）、サウジアラビア（3）、ポーランド（2）、チュニジア（2）、パキスタン（2）、キプロス（2）で、それ以外の国は1報ずつであるが、アメリカからも投稿があった。

2) 論文pdfへのアクセス状況

Webバージョンの英文誌への海外からのアクセス数について報告があった。中国、アメリカが日本よりも多いが、インド、シンガポール、ベトナム、ヨーロッパ（ドイツ、フランス、オランダ、ロシアなど）からのアクセスも増加してきている。

3) 平成29年度決算と平成30年度予算

昨年度の会報刊行費支出は9,676,396円であったが、今年も昨年並みの9,800,000円を計上した。編集費には英文校閲費が含まれるということで、それを考慮して編集費を増額した。国際誌として相応しい質の維持のために必要である。

4) 学会誌の新企画

英文誌Vol 43, Issue 3を植物ホルモン関連の特集号にし、論文を募集した。和文誌においては、ショートレビュー（見開き程度）を連載することを決定。若手研究者に投稿を依頼した。

5) 論文賞の推薦

編集委員に論文賞候補論文の推薦を依頼する旨を伝えた。

6) 英文誌のインパクトファクター

農薬関連を取り扱っている国際誌（Journal of Agricultural and Food Chemistry, Pest Management Science,

Pesticide Biochemistry and Physiology) と、投稿数、採択率、インパクトファクターの比較が行われた。英文誌のIFは0.762で、JAFC (3.253), PMS (3.154), PBP (2.590) に比べると低いが、近い将来に1を越えるよう努力すると伝えられた。

7) 英文誌のPubMed搭載

申請手続き中であり、今年4月にScientific Qualityの審査を通過しており、2016年に遡って掲載されることが認められている。現在はファイルのテクニカルチェックが進行中であることが報告された。PubMed搭載申請にあたり、動物実験、インフォームドコンセントなどについての記載を要求されたことから、Instruction for Authorsを修正したことが報告された。非会員の掲載料を2018年1月から30,000円に値上げしたが、本案件は投稿規定に関するので、評議員会に先立ち、まず常任評議員会の承認を得たことが伝えられた。

第44回評議員会議事録

日 時：平成30年5月24日(木) 16:30～17:35

場 所：カレッジプラザ講堂

出席者：三芳会長、夏目副会長、坂本副会長、大山副会長、内田監事、寺岡監事、評議員51名、委任状37通（合計94名）

出席並びに委任状を提出した評議員（88名）が定足数（34名、評議員総数101名の1/3以上）に達していることを確認したのちに会則第29条に則り三芳会長を議長として議事を進行した。

議 事：

1. 平成29年度会務報告

・第43回通常総会資料および第44回評議員会資料に基づき、総務・編集・渉外・学会賞選考および40周年記念事業の各項目について委員長または担当常任評議員が報告を行い、質疑を受けたのち、承認された。

2. 平成29年度会計報告

・第43回通常総会資料に基づき、収支決算について担当常任評議員が報告を行ったのち、寺岡監事から収支決算の内容が的確であったとの会計監査結果が報告された。以上の報告について質疑を受けたのち、承認された。

3. 平成30年度事業計画

・事業計画案および収支予算案について担当常任評議員が説明を行い、質疑を受けたのち、原案の通り承認された。

4. 規定の改定

・日本農薬学会細則、日本農薬学会専門委員会規定、投稿規定の改定について、三芳会長より説明され、日本

農薬学会細則第17条に基づき、原案通り承認された。

・日本農薬学会基金規定、日本農薬学会役員選出規定の改定について、三芳会長より説明され、質疑を受けたのち、原案の通り承認された。

5. 終身会員の推薦について

・終身会員として臼井健二氏、大原詔雄氏、馬場洋子氏、和田拓雄氏が推薦され、承認された。

6. 第44回大会について

・第44回大会を平成31年3月11～13日に名城大学（愛知県名古屋市）において開催する事が承認された。

7. その他

・「農薬について知ろう」Webサイトの宣伝方法について提案があった。

第43回通常総会議事録

平成30年5月25日(金) 午前9時30分より、秋田ビューホテル（秋田県秋田市）において、第43回通常総会が開催された。会則24条に則り三芳会長を議長として議事を進行した。

議 事：

1. 平成29年度事業報告および決算報告

・総務・編集・渉外・学会賞選考の各項目、規定の改定について各担当者が報告を行った。次いで、収支決算について会計担当者が報告を行ったのち、内田監事から収支決算の内容が的確であったとの会計監査結果が報告された。以上の報告について質疑を受けたのち、承認された。

2. 平成30年度事業計画および収支予算について

・事業計画案および収支予算案について各担当者が説明を行い、質疑を受けたのち、原案の通り承認された。

3. 終身会員の推薦について

・第44回評議員会において終身会員4名が承認された旨報告があった。

4. 第44回大会について

・第44回大会を平成31年3月11～13日に名城大学（愛知県名古屋市）において開催する事が承認された。

5. その他

・三芳会長より、40周年記念事業基金については学会関連出版物等の電子化、ならびに国際学術交流の支援などを使途として、平成29年度をもって全ての寄付金を有効に使用したことが報告され、寄附金に対する感謝の意が述べられた。

I 会務報告

1. 総務関係報告

1) 会員異動（平成29.1.1～平成29.12.31）

| | 平成28年 | | 平成29年12月31日現在 | | | 増減 (△減) |
|---------|----------|-------|---------------|-------|------------------|------------|
| | 12月31日現在 | 内 | 外 | 計 | | |
| 名 誉 会 員 | 20 | 21 | 1 | 22 | 2 | |
| 終 生 会 員 | 52 | 57 | 0 | 57 | 5 | |
| 正 会 員 | 1034 | 985 | 17 | 1002 | △32 ^a | |
| 学 生 会 員 | 52 | 62 | 0 | 62 | 10 ^b | |
| 維 持 会 員 | 38 | 36 | 0 | 36 | △2 | |
| (口数) | (75口) | (70口) | | (70口) | (△5口) | |
| 団 体 会 員 | 81 | 81 | 0 | 81 | 0 | |
| 購 読 会 員 | 33 | 4 | 23 | 27 | △6 | |

^a 入会者：114名、退会者：105名、会費未納者：41名

^b 入会者：42名、退会者：23名、会費未納者：9名

2) 会誌の発行

発行および頒布部数（平成29.1.1～平成29.12.31）

| 誌-卷-号 | 農業誌-42-1 | JPS-42-1, 2 | 農業誌-42-2 | JPS-42-3, 4 |
|-------|----------|-------------|----------|-------------|
| 発行部数 | 1500 | 1500 | 1500 | 1450 |
| 会員頒布 | 1305 | 1305 | 1305 | 1305 |
| 一般購読 | 33 | 33 | 33 | 33 |
| 寄贈 | 24 | 24 | 24 | 24 |
| 広告・PR | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 事務用 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 保存用 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 計 | 1379 | 1379 | 1379 | 1379 |
| 残存部数 | 121 | 121 | 121 | 71 |

3) 日本農薬学会第42回大会

- (1) 第42回大会：平成29年3月6日(月)に、松山全日空ホテルにおいて、総会、学会賞授賞式、受賞講演（奨励賞1題、業績賞（研究）1題、業績賞（技術）2題）、特別講演（2題）が行われた。翌3月7日(火)～8日(水)には愛媛大学（城北キャンパス）において、一般講演（105題）、シンポジウム（2件）、ランチョンセミナー（6件）が行われた。参加者総数は470名であった。

(2) 第42回通常総会：平成28年度会務報告、会計報告、会計監査報告および終身会員・顧問の推薦の報告が行われ、平成28年度事業報告および決算、平成29年度事業計画および収支予算（案）、日本農薬学会大会第43回大会（平成30年、秋田県秋田市、秋田県立大学）の開催および名誉会員が承認された。また、名誉会員推挙式が行われた後に、平成29年度日本農薬学会賞（奨励賞、業績賞、論文賞）の授賞式が行われた。（H29.3.6）

4) 役員会の開催

- (1) 第43回評議員会：平成28年度会務報告、会計報告および役員選挙報告が行われ、平成29年度事業計画および収支予算（案）、日本農薬学会規定の改定、日本農薬学会大会第43回大会（平成30年秋田県秋田市秋田県立

大学）の開催および名誉会員、終身会員、顧問、会長が推薦する役員が承認された。（H29.3.5）

- (2) 第44回評議員会：平成29年度会務報告および会計報告が行われ、平成30年度事業計画および収支予算（案）、日本農薬学会規定の改定、日本農薬学会大会第44回大会（平成31年 愛知県名古屋市 名城大学）の開催および終身会員が承認された。（H30.5.24）

(3) 常任評議員会：7回（H29.5.13, 8.5, 9.9, 12.9, H30.2.10, 4.14, 5.24）

5) 専門委員会など

- (1) 第44回編集委員会：H30.5.24に開催。
 - (2) 常任編集委員会：H29.4.29, 7.29, H30.1.6に開催。
 - (3) 日本農薬学会賞受賞者選考委員会：H29.10.7に開催。
メール会議数回。
 - (4) 財務委員会
 1. 常任評議員会開催日に開催、必要時にメール会議数回。
 2. 国際会議の渡航費補助申請の審査を行った。なお、渡航補助の一部は学会設立40周年記念事業寄付金より支出した。
 3. 学術集会活動経費取扱に関する申合せ改訂（H29.5.13 常任評議員会にて承認）。
 4. 小集会（代表者・会計担当）との打合せ（H29.7.1）にて上記申合せ改訂および小集会「期末ゼロ決算原則」周知。
 5. 外部監査（H29.8.7, H30.2.6）実施に対応。
 - (5) 第43回大会組織委員会：H29.4.14, 6.19, 8.7, 9.12, 12.4, H30.1.9に開催。
 1. 一般講演の申込締切など日程や会場について打ち合わせた。
 2. 東武トップツアーズ担当者と参加登録サイトやホテル、送迎バスなどについて打ち合わせた。
 3. 秋田ビューホテル担当者と会場や懇親会などについて打ち合わせた。
 4. 大会予算案を作成した。
 5. 特別講演の演者を選定した。
 6. プログラムを編成した。
 - (6) 将来計画委員会：H29.5.13, H30.4.14に開催。
会員数の増加、環境委員会の再編、法人化などについて検討した。
 - (7) 環境委員会：H29.6.17, 12.16, H30.5.19（学術・技術支援委員会）に開催。メール会議数回。
 1. 「農薬について知ろう」Webサイトの運営方法および保守体制構築について検討した（農薬理解促進ワーキンググループ）。
 2. HP委員会との統合ならびに統合後の委員会名称を学

- 術・技術支援委員会とすることについて検討した。
3. 「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」を出版した。
4. 残留農薬分析セミナー2017の開催および講師派遣事業について打ち合わせた。
- (8) HP委員会
大会要旨集、研究小集会要旨集などのアーカイブ化を実施した。
- (9) 農薬科学研究奨励金交付者審査会議
1. 一次審査をH29.12.21～H30.1.22の期間にメール会議により実施。
2. 二次審査会議をH30.2.10に開催。
- (10) 学術小集会委員長と常任評議員との懇談会:H29.9.9に開催。
1. H28年度の活動報告とH29年度の活動計画が報告された。

2. 期末ゼロ決算の認識を再徹底した。
- (11) 三学会長懇談会:H29.11.17に開催。
各学会の平成30年度大会開催日程、役員会日程などについて報告があった。
- (12) 日本植物防疫協会と三学会との懇談会:H29.11.17に開催。
1. 日本植物防疫協会より、各学会に対し平成29年度の予算管理の推移について説明があった。
2. 日本植物防疫協会より、平成30年度の3学会の事務局運営費案について説明があった。

6) 技術士育成推進委員会(5学会)

1回の委員会が開催された(H30.1.30)。技術士(農業部門 植物保護)の合格者が100名を超えたとの報告があった。

2. 編集関係報告

1) 「日本農薬学会誌」掲載原稿数および頁数

| 巻号 | 掲載原稿数 | | | | | | | 頁数 |
|------|----------------|----|------|------------|--------|-------|-------------|------------------------------------|
| | 投稿論文 | 解説 | 受賞論文 | 実験技術 講座 | ミニレビュー | シンポジア | 読み物 シリーズ | |
| 42-1 | 1 ^a | | 2 | 9 | 27 | 7 | 3 | 8 ^b 57 280 ^c |
| 42-2 | 1 ^d | 1 | 5 | | | 3 | 2 | 2 ^e 14 74 ^f |
| 合計 | 2 | 1 | 7 | 9 | 27 | 10 | 5 | 10 71 354 |

a: 報文1編。

b: エラータ、JPS掲載論文の要旨2編、談話室2編、慶事1編、追悼1編、書評1編。

c: この他に大会案内を掲載(29頁)。

d: 報文1編。

e: JPS掲載論文の要旨2編。

f: この他に会則等を掲載(18頁)

2) 「Journal of Pesticide Science」掲載原稿数および頁数

| 巻号 | 掲載原稿数 | | | | | | | 頁数 |
|------|-------|----|----|----|------|------|------------------|-----------------------|
| | 総説 | 報文 | 短報 | 速報 | 技術資料 | 受賞論文 | その他 | |
| 42-1 | 1 | 1 | | | | | | 2 16 |
| 42-2 | | 6 | 1 | 1 | | | | 8 50(+6) ^a |
| 42-3 | 1 | 4 | | 2 | 1 | 3 | | 11 78 |
| 42-4 | | 4 | 1 | | | | 4 ^b 9 | 48(+5) ^a |
| 合計 | 2 | 15 | 2 | 3 | 1 | 3 | 4 | 30 192(+11) |

a: Instructions for authors.

b: Contents of Volume 42 (JPSおよび農薬誌), Keyword Index, Author Index.

3) 論文賞

候補1件を、学会賞受賞者選考委員会に推薦した。

(2) 学会誌インパクトファクター(2016年): 0.762

(3) 電子ジャーナル掲載論文へのアクセス状況:月平均約6200件

4) その他

- (1) 受付論文数(2017年):和文1編、英文112編(内、国内からの投稿31編)

3. 涉外・企画関係報告

1) セミナーの開催

- (1) 残留農薬分析セミナー 2017の開催：明治薬科大学清瀬キャンパス（東京都清瀬市, H29.9.15），奈良県農業研究開発センター（奈良県桜井市, H29.11.1）。
- (2) 農薬の安全・適正使用に係る研修会（3件）に対して講師（3名）を派遣した。（H29.9.8 宮崎県植物防疫研修会, H30.1.22 ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク, H30.5.1 パルシステム生活協同組合連合会）

2) 農薬科学研究奨励金

農薬科学研究に対する研究奨励金を平成29年度は以下の3件の研究に対して交付した。

- (1) 綱干 貴子 氏（山形大学農学部）：アミン類を介したイネの傷害応答の解明
- (2) 田中 啓司 氏（近畿大学農学部）：Dieldrin抵抗性イエバエ（OCR系）に対するGABAアンタゴニストの交差抵抗性とそれら化合物のGABA受容体に対する作用性解明
- (3) 徳永 恵津子 氏（名古屋工業大学大学院工学研究科）：新奇農薬デザインのツール：SF₅化合物を簡便に作る方法の開発とその生物活性評価

3) 学術小集会

- (1) 農薬残留分析研究会（第40回）：大妻女子大学（東京都千代田区）において開催。「農薬残留分析の40年、改めて分析値の持つ意味を考える」をテーマとして基調講演1題、シンポジウム講演2題、特別講演1題、ポスター18題、企業セミナー4題の発表が行われた。参加者は270名であった。（H29.8.31～9.1）
- (2) 農薬製剤・施用法研究会（第37回）：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡県静岡市）において開催。農薬環境科学研究会と合同で行われ、特別講演4題、技術研究発表12題、ポスター17題の発表が行われた。参加者は372名であった。（H29.10.5～6）
- (3) 農薬環境科学研究会（第35回）：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡県静岡市）において開催。農薬製剤・施用法研究会と合同で行われ、特別講演4題、技術研究発表12題、ポスター17題の発表が行われた。参加者は372名であった。（H29.10.5～6）
- (4) 農薬生物活性研究会（第34回）：東京農業大学（東京都世田谷区）において開催。「殺菌剤編」、「殺虫剤編」および「除草剤編」の3部構成として合計5題の講演と、特別講演1題が行われた。参加者は112名であった。（H29.4.21）
- (5) 農薬デザイン研究会（第32回）：大手町サンスカイルーム（東京都千代田区）において開催。講演4題とランチョンセミナー1件、ポスター32題が行われた。参加者は145名であった。（H29.11.17）
- (6) 農薬レギュラトリーサイエンス研究会（第25回）：さい

たま市民会館おおみや（埼玉県さいたま市）において開催。「農薬の理解はどうして進まないのか」をテーマとして6題の講演が行われた。参加者は113名であった。（H29.11.21）

- (7) 農薬バイオサイエンス研究会（第14回）：愛媛大学城北キャンパスにおいて開催。第42回大会との共催で「生物の薬剤応答・抵抗性戦略から解き明かす農薬開発とミュレーション技術の活用」をテーマとして5題の講演が行われた。参加者は200名であった。（H29.3.8）

4) 学術小集会以外の研究会等

- (1) 構造活性フォーラム2017（協賛）：東京都渋谷区（H29.6.16）
- (2) 第8回日本昆虫科学連合・日本学術会議共催シンポジウム：東京都文京区（H29.7.22）
- (3) 第33回国際化学生態学／第9回アジア太平洋化学生態学合同会議（協賛）：京都府京都市（H29.8.23～27）
- (4) 第32回報農会シンポジウム（協賛）：東京都北区（H29.9.13）
- (5) 残留性有害物質に関する国際会議2017（後援）：愛知県名古屋市（H29.9.24～28）
- (6) 平成29年度日本農学会シンポジウム（後援）：東京都文京区（H29.10.14）
- (7) 第34回製剤と粒子設計シンポジウム（協賛）：福岡県北九州市（H29.10.26～27）
- (8) 第45回構造活性関連シンポジウム（後援）：茨城県土浦市（H29.11.29～30）
- (9) 日本学術会議公開シンポジウム「遺伝子組換え作物と植物保護」（日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会、植物保護科学連合主催）：東京都文京区（H29.12.2）
- (10) 第2回日本生物防除協議会シンポジウム（後援）：東京都文京区（H30.2.27）

5) 国際会議等派遣研究者への渡航費補助

交付者：甲斐 建次 氏（大阪府大）（7th Congress of European Microbiologists 7月、スペイン、バレンシア）、森本 正則 氏（近畿大）（第254回アメリカ化学会 8月、アメリカ、ワシントンDC）

6) その他

- (1) 「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版 2018」の出版
- (2) 講演要旨データベースの構築

4. 日本農薬学会賞受賞者選考委員会報告

1) 奨励賞、業績賞（研究、技術）

評議員ならびに学術小集会委員長より推薦された奨励賞2

課題、業績賞（研究）1課題、業績賞（技術）1課題について慎重公正なる選考を行った結果、次の4課題を各賞の候補と決定した。

【奨励賞】

- 岩船 敬 氏（内閣府食品安全委員会事務局）
 「河川における農薬及び代謝分解物の挙動と生態毒性に関する研究」
- 片岡 良太 氏（山梨大学生命環境学部）
 「環状ジエン殺虫剤分解糸状菌の探索と分解代謝経路の解明」

【業績賞（研究）】

- 田中 啓司 氏（近畿大学農学部）
 「GABA受容体に作用する殺虫剤の代謝、作用機構および実用化に関する研究」

【業績賞（技術）】

- 坂 真智子 氏（残留農薬研究所）
 「残留農薬分析法に関する実用的技術の開発とその普及」

2) 論文賞

編集委員会より推薦された論文について慎重公正なる審査

7. その他

1) 規定の改定

日本農薬学会細則（平成26年3月12日改定）第14条の改定

| 改定前 | 改定後 |
|--|---|
| (平成26年3月12日改定) 第14条 本会に専門委員会として編集委員会、学会賞受賞者選考委員会、将来計画委員会、財務委員会、 <u>環境委員会</u> 、ホームページ委員会をおく。専門委員会規定を別に定める。 | (平成29年12月9日改定) 第14条 本会に専門委員会として編集委員会、学会賞受賞者選考委員会、将来計画委員会、財務委員会、 <u>学術・技術支援委員会</u> をおく。専門委員会規定を別に定める。 |
| 付則 1 本細則は、平成26年3月12日から施行する。 | 付則 1 本細則は、平成30年1月1日から施行する。 |

日本農薬学会専門委員会規定（平成20年3月29日改定）5, 6の改定

| 改定前 | 改定後 |
|--|--|
| (平成20年3月29日改定) 5. 環境委員会は、農薬に関する正しい理解の拡大、研究成果の普及および学会活動に対する理解を深めるため、シンポジウムの開催や広報活動等の業務を行う。 | (平成29年12月9日改定) 5. 学術・技術支援委員会は、農薬に関する学術活動の支援、技術普及、情報提供および本学会ウェブサイトの管理・運営等の業務を行う。 |
| 6. ホームページ委員会は、本学会ウェブサイトの適正かつ効率的な管理・運営を目的に、掲載内容の更新・点検、関連事項の審議等の業務を行う。 | 6. (削除) |

を行い、候補を決定した。

「Discovery and identification of 2-methoxy-1-naphthaldehyde as a novel strigolactone-signaling inhibitor」

¹Okishi Mashita, ¹Hikaru Koishihara, ¹Kosuke Fukui, ¹Hidemitsu Nakamura, ^{1,2}Tadao Asami (¹Department of Applied Biological Chemistry, The University of Tokyo, Tokyo, Japan, ²Department of Biochemistry, King Abdulaziz University, Jeddah, Saudi Arabia) Vol. 41, No. 3, pp. 71–78 (2016)

5. 平成30年度日本農薬学会奨励賞、業績賞および論文賞受賞者の決定

学会賞受賞者選考委員会で選考された日本農薬学会奨励賞、業績賞および論文賞各候補について、評議員の投票により授賞が決定した。

6. 日本農薬学会設立40周年記念事業

本事業は、設立40周年記念行事の開催、国際学術交流の支援、農薬科学研究の奨励、農薬理解促進活動の推進、出版物の電子化等を行うことを目的としている。平成29年度は、若手の国際学術交流支援（国際学術交流費特別加算）、農薬理解促進のためのウェブサイトの維持、ならびに出版物の電子化が実施され、全ての予算が支出された。

日本農薬学会基金規定（平成26年11月29日改定）1, 6の改定

| 改定前 | 改定後 |
|--|---|
| <p>(平成26年11月29日改定)</p> <p>1. 日本農薬学会細則第13条に規定する基金として、積立調整金基金、国際学術交流基金、寄付基金、<u>40周年記念事業基金</u>を設定する。</p> <p>6. 40周年記念事業基金は、40周年を契機として本学会のさらなる発展に役立つことを目的として、既刊学会誌等の電子化、国際学術交流、農薬科学研究奨励、農薬理解促進活動等に支出する。本基金は時限的なものとし、目的への使用が終了したのち廃止する。</p> | <p>(平成30年5月24日改定)</p> <p>1. 日本農薬学会細則第13条に規定する基金として、積立調整金基金、国際学術交流基金、寄付基金を設定する。</p> <p>6. (削除)</p> |

日本農薬学会役員選出規定（平成26年9月6日改定）7, 9の改定

| 改定前 | 改定後 |
|---|---|
| <p>(平成26年9月6日改定)</p> <p>7. 役員候補者を推薦する場合は、その候補者名を役員任期満了の前年の9月20日までに選挙管理委員会に届け出る。選挙管理委員会は、推薦された候補者名を会員に知らせなければならない。<u>ただし、候補者名を投票用紙に記載することによって、これに替えることができる。</u></p> <p>9. 会員は、<u>Web投票と投票用紙による郵送での投票のいずれかを選択できる。郵送投票を希望する場合、会員はその旨を選挙実施年の9月20日までに選挙管理委員会の指定する方法で届け出る。投票は直接無記名とし、会長、副会長はそれぞれ単記、監事は2名、評議員は70名以内の連記とする。</u></p> | <p>(平成30年5月24日改定)</p> <p>7. 役員候補者を推薦する場合は、その候補者名を役員任期満了の前年の9月20日までに選挙管理委員会に届け出る。選挙管理委員会は、推薦された候補者名を会員に知らせなければならない。<u>ただし、候補者名をWeb投票画面に示すことによって、これに替えることができる。</u></p> <p>9. 会員による投票は、<u>Web投票システムにより行う。投票は直接無記名とし、会長、副会長はそれぞれ単記、監事は2名、評議員は70名以内の連記とする。</u></p> |

投稿規定（平成24年3月13日改定）(2), (4), (9) の改定

| 改定前 | 改定後 |
|--|--|
| <p>(平成24年3月13日改定)</p> <p>(2) また、非会員でも規定の<u>投稿料</u>を支払う場合は、投稿を受け付ける。</p> <p>(4) 原稿はオンライン投稿によって送付すること。<u>(http://pssj2.jp/journal/e-submit.html)</u> オンライン投稿ができない環境の場合、日本農薬学会編集事務局に問い合わせること。 投稿論文は本投稿規定および別に定める投稿細則に従い簡潔にまとめること。</p> <p>(9) 著者（非会員）は、掲載された論文1編につき、掲載料として<u>10,000円</u>を支払うものとする。</p> | <p>(平成30年5月24日改定)</p> <p>(2) また、非会員でも規定の<u>掲載料</u>を支払う場合は、投稿を受け付ける。</p> <p>(4) 原稿はオンライン投稿によって送付すること。オンライン投稿ができない環境の場合、日本農薬学会編集事務局に問い合わせること。 投稿論文は本投稿規定および別に定める投稿細則あるいは<u>Instructions for Authors</u>に従い簡潔にまとめること。</p> <p>(9) 著者（非会員）は、掲載された論文1編につき、掲載料として<u>30,000円</u>を支払うものとする。</p> |

II 会計報告

収支計算書 平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 | 備 考 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| 会 費 収 入 | 17,450,000 | 16,625,143 | 824,857 | |
| 正会員会費収入 | 8,800,000 | 8,240,000 | 560,000 | |
| 学生会員会費収入 | 120,000 | 126,000 | △ 6,000 | |
| 海外会員会費収入 | 80,000 | 79,143 | 857 | |
| 団体会員会費収入 | 800,000 | 820,000 | △ 20,000 | |
| 購読会員会費収入 | 350,000 | 260,000 | 90,000 | |
| 維持会員会費収入 | 7,300,000 | 7,100,000 | 200,000 | |
| 会報刊行収入 | 1,060,000 | 736,200 | 323,800 | |
| 頒布収入 | 60,000 | 71,000 | △ 11,000 | |
| 広告料収入 | 100,000 | 60,000 | 40,000 | |
| 著者負担金収入 | 900,000 | 605,200 | 294,800 | |
| 事業収入 | 22,727,000 | 22,603,173 | 123,827 | |
| 大会運営収入 | 7,520,000 | 8,264,046 | △ 744,046 | |
| 学術小集会運営収入 | 12,255,000 | 13,713,127 | △ 1,458,127 | |
| 環境委員会収入 | 2,952,000 | 626,000 | 2,326,000 | |
| 雑 収 入 | 180,000 | 505,950 | △ 325,950 | |
| 預金利息収入 | 10,000 | 3,487 | 6,513 | |
| 雑 収 入 | 170,000 | 502,463 | △ 332,463 | |
| 事業活動収入計 | 41,417,000 | 40,470,466 | 946,534 | |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| 会報刊行費支出 | 9,200,000 | 9,759,916 | △ 559,916 | |
| 旅費交通費支出 | 290,000 | 170,200 | 119,800 | |
| 通信運搬費支出 | 10,000 | 13,743 | △ 3,743 | |
| 消耗品費支出 | 150,000 | 57,543 | 92,457 | |
| 印刷製本費支出 | 7,000,000 | 7,814,230 | △ 814,230 | |
| 編集費支出 | 1,100,000 | 1,067,257 | 32,743 | |
| 学会誌送料支出 | 650,000 | 636,943 | 13,057 | |
| 総会・大会費支出 | 7,670,000 | 7,074,032 | 595,968 | |
| 学術小集会費支出 | 13,000,000 | 13,165,698 | △ 165,698 | |
| 環境委員会支出 | 4,033,200 | 977,273 | 3,055,927 | |
| H P管理費支出 | 900,000 | 950,175 | △ 50,175 | |
| 学会賞関係費支出 | 650,000 | 618,702 | 31,298 | |
| 学術交流費支出 | 800,000 | 759,450 | 40,550 | |
| 国際学術交流費支出 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | |
| 農薬科学研究奨励金支出 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | |
| 事業運営費支出 | 2,900,000 | 2,778,513 | 121,487 | |
| 会議費支出 | 800,000 | 913,233 | △ 113,233 | |
| 旅費交通費支出 | 2,100,000 | 1,865,280 | 234,720 | |
| 管理費支出 | 4,260,000 | 4,172,542 | 87,458 | |
| 旅費交通費支出 | 100,000 | 99,090 | 910 | |
| 通信運搬費支出 | 300,000 | 249,522 | 50,478 | |
| 消耗品費支出 | 160,000 | 111,679 | 48,321 | |
| 事務管理費支出 | 3,190,000 | 3,190,000 | 0 | |
| 印刷費支出 | 50,000 | 43,200 | 6,800 | |
| 外部監査管理費 | 160,000 | 151,874 | 8,126 | |
| 雑 支 出 | 300,000 | 327,177 | △ 27,177 | |
| 40周年記念事業支出 | 1,114,200 | 1,758,215 | △ 644,015 | |
| 事業活動支出計 | 47,027,400 | 43,514,516 | 3,512,884 | |
| 事業活動収支差額 | △ 5,610,400 | △ 3,044,050 | △ 2,566,350 | |
| I 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| 特定資産取崩収入 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 40周年記念事業基金取崩収入 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 投資活動収入計 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| 投資活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動収支差額 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 当期収支差額 | △ 5,110,400 | △ 2,544,050 | △ 2,566,350 | |
| 前期繰越収支差額 | 5,498,216 | 5,503,520 | △ 5,304 | |
| 次期繰越収支差額 | 387,816 | 2,959,470 | △ 2,571,654 | |

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、未払金、前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|----------|------------|-----------|
| 現金・預金 | 10,183,068 | 8,573,290 |
| 未 収 金 | 540,100 | 331,200 |
| 仮 払 金 | 850,500 | 500 |
| 合 計 | 11,573,668 | 8,904,990 |
| 未 払 金 | 0 | 125,520 |
| 前 受 金 | 6,065,600 | 5,820,000 |
| 預 り 金 | 4,548 | 0 |
| 合 計 | 6,070,148 | 5,945,520 |
| 次期繰越収支差額 | 5,503,520 | 2,959,470 |

貸借対照表

平成29年12月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|------------|------------|------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 8,573,290 | 10,183,068 | △ 1,609,778 |
| 未 収 金 | 331,200 | 540,100 | △ 208,900 |
| 仮 払 金 | 500 | 850,500 | △ 850,000 |
| 流動資産合計 | 8,904,990 | 11,573,668 | △ 2,668,678 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (2) 特定資産 | | | |
| 積立調整基金 | 13,224,379 | 13,224,379 | 0 |
| 国際学術交流基金 | 16,885,042 | 16,885,042 | 0 |
| 寄付基金 | 8,764,117 | 8,764,117 | 0 |
| 40周年記念事業基金 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| 特定資産合計 | 38,873,538 | 39,373,538 | △ 500,000 |
| 固定資産合計 | 38,873,538 | 39,373,538 | △ 500,000 |
| 資産合計 | 47,778,528 | 50,947,206 | △ 3,168,678 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未 払 金 | 125,520 | 0 | 125,520 |
| 前 受 金 | 5,820,000 | 6,065,600 | △ 245,600 |
| 預 り 金 | 0 | 4,548 | △ 4,548 |
| 流動負債合計 | 5,945,520 | 6,070,148 | △ 124,628 |
| 負債合計 | 5,945,520 | 6,070,148 | △ 124,628 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| 一般正味財産合計 | 41,833,008 | 44,877,058 | △ 3,044,050 |
| 正味財産合計 | 41,833,008 | 44,877,058 | △ 3,044,050 |
| 負債及び正味財産合計 | 47,778,528 | 50,947,206 | △ 3,168,678 |

正味財産増減計算書
平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-----------------|-------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受取会費 | 16,625,143 | 17,432,450 | △ 807,307 |
| 正会員会費 | 8,240,000 | 8,626,000 | △ 386,000 |
| 学生会員会費 | 126,000 | 114,000 | 12,000 |
| 海外会員会費 | 79,143 | 71,950 | 7,193 |
| 団体会員会費 | 820,000 | 810,000 | 10,000 |
| 講読会員会費 | 260,000 | 310,500 | △ 50,500 |
| 維持会員会費 | 7,100,000 | 7,500,000 | △ 400,000 |
| 会報刊行収益 | 736,200 | 1,063,800 | △ 327,600 |
| 頒布収益 | 71,000 | 51,200 | 19,800 |
| 広告料収益 | 60,000 | 140,000 | △ 80,000 |
| 著者負担金益 | 605,200 | 872,600 | △ 267,400 |
| 事業収益 | 22,603,173 | 21,029,318 | 1,573,855 |
| 大会運営収入 | 8,264,046 | 8,476,300 | △ 212,254 |
| 学術小集会運営収入 | 13,713,127 | 11,994,518 | 1,718,609 |
| 環境委員会収入 | 626,000 | 558,500 | 67,500 |
| 雑収益 | 505,950 | 177,533 | 328,417 |
| 預金利息 | 3,487 | 9,705 | △ 6,218 |
| 雑収益 | 502,463 | 167,828 | 334,635 |
| 経常収益計 | 40,470,466 | 39,703,101 | 767,365 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 会報刊行費 | 9,759,916 | 8,093,189 | 1,666,727 |
| 旅費交通費 | 170,200 | 22,800 | 147,400 |
| 通信運搬費 | 13,743 | 8,718 | 5,025 |
| 消耗品費 | 57,543 | 121,792 | △ 64,249 |
| 印刷製本費 | 7,814,230 | 6,523,189 | 1,291,041 |
| 編集費 | 1,067,257 | 775,220 | 292,037 |
| 学会誌送料 | 636,943 | 641,470 | △ 4,527 |
| 総会・大会費 | 7,074,032 | 8,458,125 | △ 1,384,093 |
| 学術小集会費 | 13,165,698 | 10,679,331 | 2,486,367 |
| 環境委員会 | 977,273 | 570,628 | 406,645 |
| H P管理費 | 950,175 | 866,175 | 84,000 |
| 学会賞関係費 | 618,702 | 699,161 | △ 80,459 |
| 学術交流費 | 759,450 | 365,850 | 393,600 |
| 国際学術交流費 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| 農薬科学研究奨励金 | 1,500,000 | 1,000,000 | 500,000 |
| 選挙関連費 | 0 | 216,000 | △ 216,000 |
| 事業運営費 | 2,778,513 | 2,774,530 | 3,983 |
| 会議費 | 913,233 | 852,530 | 60,703 |
| 旅費交通費 | 1,865,280 | 1,922,000 | △ 56,720 |
| 管理費 | 4,172,542 | 4,358,756 | △ 186,214 |
| 旅費交通費 | 99,090 | 183,252 | △ 84,162 |
| 通信運搬費 | 249,522 | 246,273 | 3,249 |
| 消耗品費 | 111,679 | 142,566 | △ 30,887 |
| 事務管理費 | 3,190,000 | 3,177,000 | 13,000 |
| 印刷費 | 43,200 | 43,200 | 0 |
| 外部会計監査費 | 151,874 | 151,874 | 0 |
| 雑費 | 327,177 | 414,591 | △ 87,414 |
| 40周年記念事業 | 1,758,215 | 672,800 | 1,085,415 |
| 経常費用計 | 43,514,516 | 39,254,545 | 4,259,971 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 3,044,050 | 448,556 | △ 3,492,606 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △ 3,044,050 | 448,556 | △ 3,492,606 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 3,044,050 | 448,556 | △ 3,492,606 |
| 一般正味財産期首残高 | 44,877,058 | 44,428,502 | 448,556 |
| 一般正味財産期末残高 | 41,833,008 | 44,877,058 | △ 3,044,050 |
| II 指定正味財産増減の部 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 41,833,008 | 44,877,058 | △ 3,044,050 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|-------------|------------|-------|---------|------------|
| 特定資産 | | | | (単位:円) |
| 積立調整基金口 | 13,224,379 | 0 | 0 | 13,224,379 |
| 国際学術交流基金 | 16,885,042 | 0 | 0 | 16,885,042 |
| 寄付基金口 | 8,764,117 | 0 | 0 | 8,764,117 |
| 40周年記念事業基金 | 500,000 | 0 | 500,000 | 0 |
| 合 計 | 39,373,538 | 0 | 500,000 | 38,873,538 |

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に對応する額) |
|-------------|------------|------------------|------------------|--------------|
| 特定資産 | | | | (単位:円) |
| 積立調整基金口 | 13,224,379 | (0) | (13,224,379) | (0) |
| 国際学術交流基金 | 16,885,042 | (0) | (16,885,042) | (0) |
| 寄付基金口 | 8,764,117 | (0) | (8,764,117) | (0) |
| 合 計 | 38,873,538 | (0) | (39,373,538) | (0) |

財産目録
平成29年12月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 金額 |
|---------|----------|--------------|------------|
| (流動資産) | | | |
| | 現金 | 手元保管 | 257,248 |
| | 預金 | 普通預金 | 5,336,405 |
| | | 三井住友銀行白山支店定期 | 686,630 |
| | | ジャパンネット銀行 | 3,552,160 |
| | | SMBC信託銀行 | 1,097,615 |
| | 未収金 | 振替貯金 | 2,979,637 |
| | 仮払金 | | 331,200 |
| | | | 500 |
| | | デポジット料金 | 500 |
| 流動資産合計 | | | 8,904,990 |
| (固定資産) | | | |
| 特定資産 | | | |
| | 積立調整基金 | | 13,224,379 |
| | | 三井住友銀行白山支店定期 | 13,224,379 |
| | 国際学術交流基金 | | 16,885,042 |
| | | 三井住友銀行白山支店定期 | 13,885,042 |
| | 寄付基金 | ジャパンネット銀行定期 | 3,000,000 |
| | | 三井住友銀行白山支店定期 | 8,764,117 |
| | | SMBC信託銀行 | 6,964,117 |
| | | ジャパンネット銀行定期 | 300,000 |
| 固定資産合計 | | | 1,500,000 |
| 資産合計 | | | 38,873,538 |
| (流動負債) | | | |
| | 未払金 | | 125,520 |
| | 前受金 | | 5,820,000 |
| | 正会員 | | 5,768,000 |
| | 学生会員 | | 22,000 |
| | 海外会員 | | 20,000 |
| | 団体会員 | | 10,000 |
| 流動負債合計 | | | 5,945,520 |
| 負債合計 | | | 5,945,520 |
| 正味財産 | | | 41,833,008 |

日本農薬学会設立40周年記念事業 収支報告

| 科目 | 決算 | | | |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 |
| 1.事業活動収入 | | | | |
| 法人・団体からの寄付 | 6,000,000 | | | |
| 個人からの寄付 | 1,827,000 | | | |
| 繰越金 | | 2,890,000 | 0 | 614,200 |
| 事業活動収入計 | 7,827,000 | 2,890,000 | 0 | 614,200 |
| 2.事業活動支出 | | | | |
| 40周年記念行事関係 | | | | |
| 感謝状費 | | 96,012 | | |
| 謝礼・交通費 | | 221,000 | | |
| 懇親会費 | | 272,000 | | |
| 40周年記念特別加算 | | | | |
| 国際学術交流費特別加算 | 3,150,000 | 166,564 | 500,000 | 500,000 |
| 農薬科学研究奨励特別加算 | | 1,100,000 | | |
| 40周年記念イベント関係 | | | | |
| 農薬理解促進HP作成費 | | 1,034,424 | | |
| 出版物の電子化費 | | | 172,800 | 614,200 |
| 事業活動支出計 | 3,150,000 | 2,890,000 | 672,800 | 1,114,200 |
| 事業活動収支差額 | 4,677,000 | 0 | △ 672,800 | △ 500,000 |
| 3.投資 | | | | |
| 40周年記念事業基金繰入 | 1,787,000 | | | |
| 40周年記念事業基金取崩 | | | 1,287,000 | 500,000 |
| 当期収支差額 | 2,890,000 | 0 | 614,200 | 0 |

III 会計監査報告

平成 29 年度日本農薬学会の事業報告および決算について監査の結果、的確であることを認めます。

平成 30 年 2 月 15 日

監事 内田 又左衛門 印

寺岡 徹 印

IV 議事

1. 平成29年度事業報告および決算の承認

2. 平成30年度事業計画および収支予算（案）の承認

- 1) 会誌の発行：日本農薬学会誌 第43巻、第1号～第2号
(第43巻2号より、ショートレビュー(2ページ)を連載予定)
Journal of Pesticide Science (JPS) 誌
第43巻、第1号～第4号
(JPS Vol. 43 (No. 3) に植物ホルモン関係の論文をまとめSpecial Issueとする)
- 2) 第43回大会の開催：H30.5.25～27、秋田県立大学
(秋田県秋田市)

3) 日本農薬学会賞および論文賞の授与

4) 専門委員会などの開催

- (1) 編集委員会
- (2) 常任編集委員会
- (3) 日本農薬学会賞受賞者選考委員会
- (4) 財務委員会
- (5) 第44回大会組織委員会
- (6) 将来計画委員会
- (7) 学術・技術支援委員会
- (8) 農薬科学研究奨励金交付者審査会議 (一次および二次)
- (9) 選挙管理委員会

5) セミナーの開催

- (1) 残留農薬分析セミナー 2018を開催予定 (2回程度、
関西 (H30.10月初旬、または11月初旬) と、関東
(H30.9.14))
- (2) 農薬の安全性等に関する講師派遣 (予定)

6) 学術小集会、講演会等の開催

- (1) 農薬残留分析研究会：第41回農薬残留分析研究会
を長崎ブリックホール (長崎県長崎市) において開催。
(H30.10.11～12)
- (2) 農薬製剤・施用法研究会：第38回農薬製剤・施用法
シンポジウムをピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター
(滋賀県大津市) において開催。
(H30.10.18～19)
- (3) 農薬環境科学研究会：第36回農薬環境科学研究会を
ホテルクラウンパレス甲府 (山梨県甲府市) において
開催。
(H30.11.8～9)
- (4) 農薬生物活性研究会：第35回農薬生物活性研究会
シンポジウムを秋田県立大学 (秋田県秋田市) にお
いて開催。
(第43回大会との共催) (H30.5.27)
- (5) 農薬デザイン研究会：第33回農薬デザイン研究会
をホテルアンビア松風閣 (静岡県焼津市) において
開催。
(H30.11.17～18)
- (6) 農薬レギュラトリーサイエンス研究会：第26回シ
ンポジウムを11月に開催。
(開催地は東京都)
- (7) 農薬バイオサイエンス研究会：第15回農薬バイオサイエンス研究会を秋田県立大学 (秋田県秋田市) に
において開催。
(第43回大会との共催) (H30.5.27)
第16回農薬バイオサイエンス研究会を11月に開催
(京都府京都市)

7) 農薬科学研究奨励金の交付

- (1) 加藤 玄俊 氏 ((一社) ぎふクリーン農業研究セン
ター)：イネ箱施用剤の残留と挙動についての調査
- (2) 小松 健 氏 (東京農工大学農学研究院)：プラン
トアクティベーター (植物防御活性剤) による植物
ウイルス感染抑制機構の解明
- (3) 水口 智江可 氏 (名古屋大学大学院生命農学研究
科)：昆虫の胚発生における幼若ホルモン (JH) の
生理機能：JH様活性物質の殺卵活性発現のメカニ
ズム解明に向けて

8) 平成30年度収支予算

収支予算書
平成30年 1月 1日から平成30年12月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 30年予算 | 29年予算額 | 増減 | 備 考 |
|--|-------------|-------------|-------------|--------|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| 会 費 収 入 | 16,680,000 | 17,450,000 | △ 770,000 | |
| 正 会 員 会 費 収 入 | 8,300,000 | 8,800,000 | △ 500,000 | |
| 学 生 会 員 会 費 収 入 | 130,000 | 120,000 | 10,000 | |
| 海 外 会 員 会 費 収 入 | 80,000 | 80,000 | 0 | |
| 団 体 会 員 会 費 収 入 | 770,000 | 800,000 | △ 30,000 | |
| 購 読 会 員 会 費 収 入 | 300,000 | 350,000 | △ 50,000 | |
| 維 持 会 員 会 費 収 入 | 7,100,000 | 7,300,000 | △ 200,000 | |
| 会 報 刊 行 収 入 | 840,000 | 1,060,000 | △ 220,000 | |
| 頒 布 収 入 | 80,000 | 60,000 | 20,000 | |
| 広 告 料 収 入 | 60,000 | 100,000 | △ 40,000 | |
| 著 者 負 担 金 収 入 | 700,000 | 900,000 | △ 200,000 | |
| 事 業 収 入 | 23,030,000 | 22,727,000 | 303,000 | |
| 大 会 運 営 収 入 | 6,630,000 | 7,520,000 | △ 890,000 | |
| 学 術 小 集 会 運 営 収 入 | 13,500,000 | 12,255,000 | 1,245,000 | 7研究会合計 |
| 環 境 委 員 会 収 入 | | 2,952,000 | △ 2,952,000 | |
| 学 術・技術 支 援 委 員 会 収 入 | 2,900,000 | 0 | 2,900,000 | |
| 雑 収 入 | 144,000 | 180,000 | △ 36,000 | |
| 預 金 利 息 収 入 | 4,000 | 10,000 | △ 6,000 | |
| 雑 収 入 | 140,000 | 170,000 | △ 30,000 | |
| 事業活動収入計 | 40,694,000 | 41,417,000 | △ 723,000 | |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| 会 報 刊 行 費 支 出 | 9,800,000 | 9,200,000 | 600,000 | |
| 旅 費 交 通 費 支 出 | 290,000 | 290,000 | 0 | |
| 通 信 運 搬 費 支 出 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 消 耗 品 費 支 出 | 50,000 | 150,000 | △ 100,000 | |
| 印 刷 製 本 費 支 出 | 7,300,000 | 7,000,000 | 300,000 | |
| 編 集 費 支 出 | 1,500,000 | 1,100,000 | 400,000 | |
| 学 会 誌 送 付 費 支 出 | 650,000 | 650,000 | 0 | |
| 総 会・大 会 費 支 出 | 6,240,000 | 7,670,000 | △ 1,430,000 | |
| 学 術 小 集 会 費 支 出 | 13,000,000 | 13,000,000 | 0 | 7研究会合計 |
| 環 境 委 員 会 支 出 | | 4,033,200 | △ 4,033,200 | |
| 学 術・技術 支 援 委 員 会 支 出 | 4,258,000 | | 4,258,000 | |
| H P 管 理 費 支 出 | 900,000 | 900,000 | 0 | |
| 学 会 賞 關 係 費 支 出 | 350,000 | 650,000 | △ 300,000 | |
| 学 術 交 流 費 支 出 | 300,000 | 800,000 | △ 500,000 | |
| 国 際 学 術 交 流 費 支 出 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 農 菜 科 学 研 究 奨 励 金 支 出 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | |
| 男 女 共 同 参 画 支 援 費 | 150,000 | 0 | 150,000 | |
| 選 举 管 理 費 支 出 | 200,000 | 0 | 200,000 | |
| 事 業 運 営 費 支 出 | 2,800,000 | 2,900,000 | △ 100,000 | |
| 会 議 費 支 出 | 800,000 | 800,000 | 0 | |
| 旅 費 交 通 費 支 出 | 2,000,000 | 2,100,000 | △ 100,000 | |
| 管 理 費 支 出 | 4,257,000 | 4,260,000 | △ 3,000 | |
| 旅 費 交 通 費 支 出 | 130,000 | 100,000 | 30,000 | |
| 通 信 運 搬 費 支 出 | 250,000 | 300,000 | △ 50,000 | |
| 消 耗 品 費 支 出 | 150,000 | 160,000 | △ 10,000 | |
| 事 務 管 理 費 支 出 | 3,217,000 | 3,190,000 | 27,000 | |
| 印 刷 費 支 出 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 外 部 監 査 管 理 費 | 160,000 | 160,000 | 0 | |
| 雑 支 出 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 40周年記念事業支出 | 0 | 1,114,200 | △ 1,114,200 | |
| 事業活動支出計 | 44,755,000 | 47,027,400 | △ 2,272,400 | |
| 事業活動収支差額 | △ 4,061,000 | △ 5,610,400 | 1,549,400 | |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| 特 定 資 産 取 崩 収 入 | 3,000,000 | 500,000 | 2,500,000 | |
| 積 立 調 整 基 金 取 崩 収 入 ^(注) | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | |
| 国 際 学 術 交 流 基 金 取 崩 収 入 ^(注) | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | |
| 寄 付 基 金 取 崩 収 入 ^(注) | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | |
| 40周年記念事業基金 取 崩 収 入 | 0 | 500,000 | △ 500,000 | |
| 投資活動収入計 | 3,000,000 | 500,000 | 2,500,000 | |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| 投資活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動収支差額 | 3,000,000 | 500,000 | 2,500,000 | |
| 当 期 収 支 差 額 | △ 1,061,000 | △ 5,110,400 | 4,049,400 | |
| 前 期 繰 越 収 支 差 額 | 2,959,470 | 5,498,216 | △ 2,538,746 | |
| 次 期 繰 越 収 支 差 額 | 1,898,470 | 387,816 | 1,510,654 | |

(注)国際学術交流基金取崩収入:国際学術交流費に充当、寄付基金取崩収入:農業科学的研究奨励に充当(一部)
積立調整基金:財務活動安定化に活用

3. 終身会員の推薦

会則第7条2項により、白井 健二 氏、大原 詔雄 氏、馬場 洋子 氏、和田 拓雄 氏を終身会員に推薦し、評議員会において承認された。

4. 日本農薬学会第44回大会（平成31年）の承認

第44回大会を平成31年3月11～13日に名城大学（愛知県名古屋市）において開催する。

5. その他

会 員 動 静

（平成30年4月1日～平成30年5月15日）

入会

正会員

浅野 周 栢岡 理 野間 淳一 井戸 邦夫
矢野 貴大 長谷川真紀

学生会員

飯塚 千晶 野口 晃 伊藤 伸也

団体会員

株式会社キューサイ分析研究所

（受付順）

退会

名誉会員

石田 三雄

正会員

渡邊 秀典 郷 和久 山本 雄也 吉原 彩華

永野 泰子

学生会員

焼尾 真緒 田中 善将

維持会員

デュポン・プロダクション・アグリサイエンス（株）

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛、後援する会議等

2018年

9月

3日（月）～5日（水）Pyrethrum Workshop 2018

主 催：松田一彦, David B. Sattelle

会 場：Queen's College, Cambridge [Silver Street,
Cambridge CB3 9ET, UK]

U R L : <https://www.pyrethrum2018.com/>

14日（金）残留農薬分析セミナー 2018（関東）

主 催：日本農薬学会

会 場：明治薬科大学 清瀬キャンパス [〒204-0004 東京都清瀬市野塩2丁目522-1]

U R L : http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_18.html

10月

9日（火）～12日（金）第13回エコバランス国際会議

主 催：日本LCA学会

会 場：国際ファッショングセンター [〒130-0015 東京都墨田区横網（よこあみ）一丁目6番1号]

U R L : <http://www.ecobalance2018.org/>

23日（火）第33回報農会シンポジウム

主 催：公益財団法人 報農会

会 場：「北とぴあ」つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1-11-1]

U R L : <http://www.honokai.org/PDF/Symposium-33-Kouen-Yoshi.pdf>

11日（木）～12日（金）第41回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会、農薬残留分析研究会

会 場：長崎ブリックホール [〒852-8104 長崎県長崎市茂里町2-38]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu41.html>

18日（木）～19日（金）第38回農薬製剤・施用法研究会

主 催：日本農薬学会、農薬製剤・施用法研究会

会 場：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター [〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai38.html>

11月

8日（木）～9日（金）第36回農薬環境科学研究会

主 催：日本農薬学会、農薬環境科学研究会

会 場：ホテルクラウンパレス甲府 [〒400-0862 山梨県甲府市朝氣1丁目2-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/environment.html>

8日（木）～9日（金）第33回農薬デザイン研究会

主 催：日本農薬学会、農薬デザイン研究会

会 場：ホテルアンビア松風閣 [〒425-0012 静岡県焼津市浜当目海岸通り星が丘]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/design.html>

**27日(火) 第26回農薬レギュラトリーサイエンス研究会
「農薬取締法の改正を受けて」**
主 催：日本農薬学会、農薬レギュラトリーサイエンス研究会
会 場：北とぴあ [〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1]
U R L：<http://pssj2.jp/committee/regulatory.html>

28日(水)～29日(木) 残留農薬分析セミナー 2018 (関西)
主 催：日本農薬学会
会 場：奈良県農業研究開発センター [〒633-0046 奈良県桜井市池之内130-1]
U R L：http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_18.html

12月
5日(水)～6日(木) 第46回構造活性相関シンポジウム
主 催：日本薬学会構造活性相関部会
会 場：大阪大学吹田キャンパス銀杏会館 [〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2]
U R L：<http://www.qsarj.org/46sympo/>

【関西】

- ・場所：奈良県農業研究開発センター
- ・日時：平成30年11月28日(水)～29日(木) 2日間
28日講義 13時10分～17時20分
29日実習 8時30分～14時20分
- ・定員：28日50名 (1日目の講義のみの受講が可能です),
29日15名 (実習の受講には1日目の講義の受講を必須とします)
先着順, 最終申込締切：11月13日. 開催当日での申込・参加はできません.

2. 受講費

| | 関東セミナー | 関西セミナー | |
|-----|----------------------------|------------------------|----------------------------|
| | 講義+実習 (1日間) (1日分昼食付) | 講義のみ (1日間) (昼食無) | 講義+実習 (2日間) (1日分昼食付) |
| 会員 | 11,000円 | 6,000円 | 17,000円 |
| 非会員 | 24,000円 | 16,000円 | 33,000円 |
| 学生 | 5,000円 | 4,000円 | 6,000円 |

(昼食付は、受講費に昼食代を含む)

学会主催会議などの詳細

残留農薬分析セミナー 2018

恒例となりました残留農薬分析セミナーは、今年度も下記に示しましたように、2回の開催を予定しています。関東、関西とも初心者を対象に行い、講義、実習、総合討論の3部構成で進めます。なお、関東では従来どおり1日間ですが、関西では2日間とし、1日目は講義とその質疑応答、2日目は実習と総合討論とします。

講義においては、残留農薬分析に係る法律や農薬残留分析技術の基礎などの情報提供を行い、実習においては、関東では試料調製に重点を置き、関西では抽出から精製まで一連の操作を予定しています。また、質疑応答や総合討論では、皆様の日頃の疑問やお悩みに応えることを主目的にしておりますので、皆様ふるってご参加下さい。

詳細は、下記Websiteをご参照ください。Websiteは順次アップデートしてまいります。

U R L：http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_18.html

1. 開催時期と内容

【関東】

- ・場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス
- ・日時：平成30年9月14日(金) 10時～17時
- ・定員：16名
- ・先着順、最終申込締切：8月31日. 開催当日での申込・参加はできません。

3. 申し込み先及び問い合わせ先

日本農薬学会ホームページ (http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_18.html) より申込書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、下記 E-mail あるいはFAXにて、農薬学会事務局あてにお申込みください。

日本農薬学会 E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp
FAX: 03-5980-0282

不明点等につきましても上記にお問合せください。

第41回農薬残留分析研究会

主催：日本農薬学会、農薬残留分析研究会

日時：平成30年10月11日(木)～12日(金)

場所：長崎ブリックホール [〒852-8104 長崎県長崎市茂里町2-38]

<http://www.brickhall.jp/>

交通：JR「浦上」駅から徒歩5分、路面電車・バス「茂里町」停留所から徒歩3分

本会参加費：農薬学会または日本食品衛生学会正会員5,000円（当日7,000円）、非会員8,000円（当日10,000円）、学生2,000円

情報交換会参加費：8,000円

エクスカーション参加費（先着50名）：3,500円

参加申込み：

参加申込書に必要事項を入力のうえ、メールもしくはFAXにて、下記の第41回研究会・実行委員会宛にお申込みください。受付完了メールが1週間以内に返信されますので、ご確認ください。

事前参加申込み期限は9月7日(金)です。

発表申込み：

発表申込書に演題、発表者、所属、連絡先等の必要情報を入力のうえ、メールもしくはFAXにて、下記の第41回研究会・実行委員会宛にお申込みください。受付完了メールが1週間以内に返信されますので、ご確認ください。発表申込み期限は8月27日(月)で、原稿提出期限は9月7日(金)です。なお、発表形式は全てポスター発表で受けつけさせて頂き、事務局にてセレクトした演題について口頭発表を依頼します。但し、口頭発表を希望される場合には、申し込み時にその旨をご連絡ください。

企業展示申込み：

展示申込書に必要事項を入力のうえ、メールもしくはFAXにて、下記の第41回研究会・実行委員会宛にお申込みください。受付完了メールが1週間以内に返信されますので、ご確認ください。事前参加申込み期限は8月17日(金)です。

第41回研究会・実行委員会：小杉正樹（一般財団法人日本食品分析センター）

E-mail: kosugim@jfrl.or.jp, FAX. 042-372-6990

プログラム：

10月11日(木)：1日目

- 12:00～ 受付
12:55～13:00 開会挨拶（藪崎委員長）
シンポジウム「残留農薬分析の信頼性保証に関する話題」
13:00～13:35 S-01「農林水産・食品分野における標準・認証について」
(農林水産省食料産業局食品製造課基準認証室 担当官)
13:35～14:10 S-02「JAグループとしてのGAPの取り組み（仮題）」
門永 章宏（全国農業協同組合連合会 耕種総合対策部GAP推進課）
14:10～14:45 S-03「残留農薬分析の信頼性確保について—ISO/IEC17025の改正を踏まえて—」
森 曜子（公益社団法人日本食品衛生協会）
14:45～16:15 ポスターセッション、企業展示
16:15～16:50 S-04「技能試験を実施してわかった食品中残留農薬分析の現状（仮題）」

大竹 貴光（国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量標準総合センター）

- 16:50～17:25 S-05「作物残留試験(GLP)の検査事例」
柴田 仁（独立行政法人農林水産消費安全技術センター 農薬検査部）
17:25～18:05 特別講演「長崎県における露地栽培の無人ヘリ防除技術の確立・実証と今後の展望」
大山 知泰（長崎県農林部 農産園芸課）
18:15～20:15 情報交換会（ポスターセッション、企業展示）

10月12日(金)：2日目

- 9:15～10:00 ポスターセッション、企業展示
10:00～10:30 一般講演 3題（各10分）
10:30～11:50 意見交換会
前半にジチオカーバメート分析をメインにした個別分析法に関する講演を、
後半に演者らと会場上で意見交換を行う予定です。
11:50 閉会挨拶
12:00～17:20 エクスカーション（バス移動中、こちらで準備したお弁当にて昼食）
・諫早ゆうゆうランド「干拓の里」
・中央干拓地見学
・杵の川酒造
17:20頃 長崎駅にて解散（予定）

[お問い合わせ先]

一般財団法人日本食品分析センター 小杉 正樹
TEL: 042-372-6702 (ダイヤルイン)
FAX: 042-372-6990 E-mail: kosugim@jfrl.or.jp

第38回農薬製剤・施用法シンポジウム

主催：日本農薬学会、農薬製剤・施用法研究会

協賛：農業食料工学会、日本雑草学会、粉体工学会、日本化学会、高分子学会、色材協会、日本油化学会

日時：平成30年10月18日(木)～19日(金)

会場：ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）「ピアザホール」

[〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20] TEL:
077-527-3315

(JR大津駅から京阪・近江バス なぎさ公園線 約8分
「ピアザ淡海」下車、JR大津駅からタクシー約5分、
JR膳所駅から徒歩約12分、京阪電車石場駅から徒歩
約5分)

URL : <http://www.piazza-omi.jp/>

懇親会会場 びわ湖大津プリンスホテル 3階「プリンスホール」
URL : <http://www.princehotels.co.jp/otsu/>

1. プログラム（予定）

10月18日 13:00～17:20 特別講演（2件）、ポスターセッション
18:00～20:00 懇親会
10月19日 9:00～16:30 特別講演（2件）、技術研究フォーラム

【特別講演】

①「In-can and tank mix drift retardants: A tool to minimize the agrochemical losses caused by drift」

Martin Bauer (Industrial & Consumer Specialties, Clariant)

②「農薬封入生分解性キャリアナノ粒子を用いた植物病原菌の防除」

野村 俊之（大阪府立大学大学院 工学研究科 化学工学分野）

③「薬剤施用法をめぐる論点」

藤田 俊一（一般社団法人 日本植物防疫協会）

④「水稻の新しい移植栽培法の展開」

藤岡 修（農研機構 農業技術革新工学研究センター）

2. 参加申込み

1) 参加申込み方法

所定の参加申込書（日本農薬学会HP参照）に、所属、氏名（フリガナ）、連絡先等の必要事項を明記の上、E-mail、ファックスまたは郵送で下記にお申し込み下さい。なお、発送事務等の省力化のため、会社・事業所・研究機関等の単位で代表者が取りまとめの上、一括してお申込み下さるようお願い致します。大会運営の都合上定員（380名）になり次第、締め切らせていただきますのでお早目の申込みをお願い致します。

・申込み先：ネオライト興産（株）営業部

第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
木村 健市（キムラ ケンイチ）
〒546-0002 大阪府大阪市東住吉区杭全7-4-16
TEL: 06-6714-3651 FAX: 06-6714-3675
E-mail: seizai38@neoraito.co.jp

2) 参加費（7月1日～当日）

19,000円（内 研究会費 13,000円、懇親会費 6,000円）

参加費には、2日目の昼食（弁当）も含みます。なお、1日のみの参加、および懇親会の参加有無にかかわらず、参加料金は一律（研究会費+懇親会費）です（振込手数料につきましては別途負担となります）。

3) 参加費振込

参加申込み後は、下記振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します。また、一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい。ご入金確認後に、折返し参加確認および・参加費振込確認書を送付致します。参加申込書にてお受け取り方法をご指定ください（E-mail、ファックスまたは郵送）。なお、参加申込み・入金確認書をもって領収書とさせていただきます。

振り込み先： 三菱東京UFJ銀行 駒込支店（店番号061）
普通口座番号 0020365

日本農薬学会 製剤施用法研究会（ニホンノウヤクガッカイセイザイセヨウホウケンキュウカイ）

3. 宿泊

事務局での宿泊手配は行っておりません。ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をお願い致します。

4. 事務局

【シンポジウム全般に関する問い合わせ】

三井化学アグロ（株）研究開発本部 農業科学研究所 製剤設計グループ内
第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
来田 丈太郎（キダ ジョウタロウ）
〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅1358
TEL: 077-586-1223 FAX: 077-586-2538
nss-shinpo38@mitsuichemicals.com

【参加申込み・参加費に関するお問合せ】

ネオライト興産（株）営業部
第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
木村 健市（キムラ ケンイチ）
〒546-0002 大阪府大阪市東住吉区杭全7-4-16
TEL: 06-6714-3651 FAX: 06-6714-3675
seizai38@neoraito.co.jp

【技術研究発表・ポスターセッションに関するお問合せ】

日本農薬（株）生産本部 技術部 生産技術センター
第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
清水 寿明（シミズ トシアキ）
〒555-0001 大阪府大阪市西淀川区佃5-2-30
TEL: 06-6473-0021 FAX: 06-6475-5440
seizai-present@nichino.co.jp

第36回農薬環境科学研究会

テーマ：POPs等の難分解性農薬の微生物分解

日 時：平成30年11月8日（木）～9日（金）

場 所：ホテルクラウンパレス甲府〔〒400-0862 山梨県
甲府市朝氣1-2-1〕
<https://www.crownpalais.jp/kofu/>

1. プログラム（予定）

1日目

- 11月8日(木) 12:30～18:00
12:30～ 受付開始（委員会は12:00～13:00）
開会挨拶（農薬環境科学研究会委員長 高木和広）
1) 13:30～14:20 基調講演：[POPs分解菌と分解代謝経路]
宮崎大学農学部 亀井一郎教授
2) 14:20～15:00 「POPs分解酵素遺伝子とバイオレメディエーションへの応用」
(国研) 農研機構農業環境変動研究センター 伊藤虹児博士 (JSPS-PD)
15:00～15:15 休憩
3) 15:15～15:55 「HCH脱塩素反応を触媒するハロアルカンデハロゲナーゼの多様性とバイオレメディエーションへの応用」
東北大学・大学院生命科学研究科 永田裕二教授
4) 15:55～16:35 「数理モデルを用いた分解代謝物の哺乳類に対する毒性予測」
明治薬科大学 植沢芳広教授
16:35～16:50 休憩
5) 16:50～18:00 ポスター発表5-10題（委員によるポスター賞選定, 1課題）
6) 18:30～20:30 情報交換会 懇親会, ポスター賞発表, 賞状+記念品授与（委員長）

2日目

- 11月9日(金) 9:00～15:30
1) 9:00～9:50 特別講演 「科学の眼で見たブドウの香り」
山梨大学 ワイン科学研究センター 鈴木俊二教授
2) 9:50～10:30 「high-resolution LC-Orbitrap MSを用いた代謝物の同定」
(国研) 農研機構食品部門 上級研究員 中川博之博士
10:30～10:45 休憩
3) 10:45～11:25 「ヘプタクロル汚染農耕地土壤の対策技術」
地独) 北海道立総合研究機構 農業研究本部 中央農業試験場 農業環境部
研究主任 板垣英祐氏

- 「POPs等難分解性化合物汚染土壤のバイオレメディエーション」
11:30～12:00 総合討論（司会：高木）
12:00 閉会挨拶（片岡実行委員長）

12:30～15:30 エクスカーション（3000円, 昼食の弁当代を含む）

コース：山梨大ワイン科学研究センター→マンズワイン勝沼ワイナリー（予約済）→勝沼ぶどうの丘→甲府駅（15:30頃解散）

2. 参加申込み

1) 参加申込み方法

所定の参加申込書に、所属、氏名（フリガナ）、連絡先等の必要事項を明記の上、平成30年10月26日（金）までにE-mail（別紙1のWordファイル形式のまま）、ファックスまたは郵送で下記にお申し込み下さい。

なお、発送事務等の省力化のため、会社・事業所・研究機関等の単位で代表者が取りまとめの上、一括してお申込み下さいようお願い致します。大会運営の都合上定員（380名）になり次第、締め切らせていただきますのでお早目の申込みをお願い致します。申込み期限を過ぎますと、早期割引料金が適用されませんので、ご注意ください。

・参加申込書： 別紙1を参照ください

・申込み先：

第36回農薬環境科学研究会事務局

山梨大学 生命環境科学部 片岡良太（カタオカラヨウタ）

E-mail: rkataoka@yamanashi.co.jp

TEL/FAX: 055-220-8835

2) 会費

1. 日本農薬学会及び協賛学会（協会）会員の場合：

20,000円（内 資料代込み参加費 7,000円, 宿泊費 7,000円, 懇親会費 6,000円）

2. 上記学会の会員でない場合：

23,000円（内 資料代込み参加費 11,000円, 宿泊費 7,000円, 懇親会費 6,000円）

3. 学生：

9,000円（内 資料代込み参加費 3,000円, 宿泊費 3,000円, 懇親会費 3,000円）

※参加費には、1日のみの参加、および懇親会の参加有無にかかわらず、参加料金は一律（研究会費+懇親会費）です（振込手数料につきましては別途負担となります）。

3) 参加費および展示費振込み

参加申込み後は、下記振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します。また、一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい。ご

入金確認後に、折返し参加確認および参加費振込確認書をE-mailにて送付致します。なお、参加申込み・入金確認書をもって領収書とさせていただきます。企業展示の方は代表者の参加費（7,000円）と展示費（30,000円）をお振り込みください。また、企業展示をされる方の宿泊についてですが、各自で会場周辺のホテルをご予約くださいますようお願い申し上げます。

参加費振込先：

口座名 農薬環境科学研究会 山梨支部
(ノウヤクカンキョウカガクケンキュウカイ
ヤマナシシブ)
銀行名 ゆうちょ銀行 ○二九店(店番029)
口座記号番号 00270-5-0139258, 当座預金

3. ポスター発表申込み

ポスター発表は農薬環境科学全般に関するものとします。
ポスター発表：研究会会場内で、ポスター展示にて行います。

発表を希望される方は、演題、発表者、所属等を所定の申込み用紙に記入の上、平成30年9月28日(金)までにE-mailで下記にお申込み下さい。また、発表希望者は、[ポスター発表要領] (別紙3) により作成した発表要旨を平成30年10月9日(火)までにE-mailでお送り下さい。なお、ポスターセッションを希望される方も別途参加申込みが必要となります。前項「2. 参加申込み」をご参照ください。また、若手の発表者を対象にポスター賞を授与いたします。

発表申込書： 別紙2を参照ください。

ポスター発表要領： 別紙3を参照ください。

・送付先：

担当委員（ポスター発表担当）
国立研究開発法人農研機構 農業環境変動研究センター
有害化学物質研究領域
伊藤 虹児（イトウ コウジ） 宛
E-mail: ikouiji@affrc.go.jp

4. 宿泊先

第36回大会では参加費に宿泊が含まれております。ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をする必要はございません（但し、企業展示の方を除く）。ご出席の皆様には以下のホテルに宿泊していただくことになります。部屋タイプは全てシングルではございませんので、相部屋になることもありますがご了承ください。なお、ホテルは申込み順にクラウンホテル甲府から割当てさせて頂きます。ご了承ください。

☆ホテルクラウンパレス甲府
☆ホテルニューステーション

5. エクスカーション

第36回大会では、9日の午後にエクスカーションをご用意しています。エクスカーションに参加する方は9日の研究会終了後に会場でお昼を食べた後、マイクロバスで以下のコースをご案内致します。

※参加定員数は先着30名です。

※参加費3000円に昼食代が含まれています。

【コース】所要予定時間（12:45～15:30）

山梨大学ワイン科学研究センター → マンズワインワイナリー（勝沼）→ 勝沼ぶどうの丘→甲府駅（15:30頃解散予定）

《中央本線特急電車時刻表》

| | | |
|-------|---|-------|
| 甲府駅発 | → | 新宿駅着 |
| 15:55 | → | 17:26 |
| 16:10 | → | 17:51 |
| 16:32 | → | 18:07 |
| 17:02 | → | 18:37 |

6. 事務局

[シンポジウム全般に関する問い合わせ]

国立研究開発法人農研機構 農業環境変動研究センター
有害化学物質研究領域
高木 和広（タカギ カズヒロ）
〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3
TEL: 029-838-8325
E-mail: ktakagi@affrc.go.jp

[参加申込み・参加費・宿泊・エクスカーションに関するお問合せ]

山梨大学 生命環境学部 環境科学科
片岡 良太（カタオカ リョウタ）
〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
TEL: 055-220-8835
E-mail: rkataoka@yamanashi.ac.jp

[ポスターセッションに関するお問合せ]

国立研究開発法人農研機構 農業環境変動研究センター
有害化学物質研究領域
伊藤 虹児（イトウ コウジ）
〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3
TEL: 029-838-8325
E-mail: ikouiji@affrc.go.jp

第33回農薬デザイン研究会

主 催：日本農薬学会・農薬デザイン研究会

日 時：平成30年11月8日(木) 13:00～9日(金) 12:00

会 場：ホテルアンビア松風閣 [〒455-0012 静岡県焼津市浜当目海岸通り星が丘]

<http://www.syofukaku.com/access/index.html>

テーマ：日本の創農薬力強化

招待講演

菅 敏幸 先生（静岡県立大学）

轟 泰司 先生（静岡大学）

中川 好秋 先生（京都大学）

山口 潤一郎 先生（早稲田大学）（五十音順）

ポスター発表：

合成、生物活性、構造活性相関を中心に農薬研究/開発に
関わるポスター発表を募集します。

ポスター発表申込み開始：平成30年7月10日（火）より

ポスター発表申込み締め切り：平成30年9月14日（金）

ポスター発表申込み：①発表要旨（Word ファイル及びPDF
ファイル）と②著作権利用許諾誓約書（必要事項の記入、捺印の上PDF化したもの）をE-mailにてお送りください。

[著作権利用許諾誓約書（PDF）]

※著作権利用許諾誓約書に関して、共著者全員の同意を得た
上で、お申込み下さい。

※選考委員による選考により、優れた発表にはポスター賞を
贈呈いたします（学生対象）。奮ってご参加ください。

※尚、ポスター発表者にはショートレビューをお願いしま
す。詳細は締め切り後、発表者に直接ご連絡いたします。

※要旨原稿の作成について

1. 要旨原稿はMicrosoft Word もしくは Microsoft Word for Mac にて作成してください。図表を挿入しても差し支えあ
りません。1演題につきA4用紙1枚です。講演要旨集はモノクロ印刷となりますので、カラーは反映されません（カ
ラー原稿の場合、不鮮明になる場合がございます）。

2. 書式

A) A4版用紙を用い、上下35.5 mm、左右30 mmを余
白として記入してください。

B) 演題および氏名、所属を最上部に記入してくださ
い。発表者が連名の場合には、講演者の前に○印を付
けてください。

3. 要旨原稿ファイルは、Word ファイルおよびそれをPDF
化したファイルの両方で提出していただきます。PDF化
に際しては、図表に充分な解像度があるか、文字化けは
ないか発表者自身で確認してください。

4. ファイル名はそれぞれ（氏名の半角英小文字. doc）、（氏
名の半角英小文字. pdf）としてください。

5. 過去の要旨は、日本農薬学会のホームページにある講演
要旨データベースで確認できます。ご参考ください。

参加登録費：(要旨集代、懇親会費を含む。)

一般 25,000円（非会員30,000円）

公的研究機関 20,000円（非会員25,000円）

学生 10,000円（非会員15,000円）

参加申込み方法：

所属機関、研究所、研究室などのグループ毎に、参加申込
書に氏名、性別、年齢、所属、連絡先（住所・電話番号・
Fax・E-mail）、日本農薬学会正会員・学生会員・非会員の
別、振込み予定日を記入し、代表者よりE-mailに参加申込
書を添付してお申込みください。添付する際には、ファイル
名を（所属の半角英小文字.xlsx）としてください。

※今回は、宿泊のみの取扱いとなります。

※会員の扱いは、日本農薬学会の正会員と学生会員のみです。

※慣例に従い、氏名、所属の一覧表を当日配布致します。ご
了承の上、お申込み下さい。

※宿泊に関しては基本的に4~5名の相部屋となります。部
屋割りは、勝手ながら性別、年齢を考慮して事務局で決め
させていただきます。ご了承ください。

お問い合わせ先

第33回農薬デザイン研究会事務局

〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 408-1

クミアイ化学工業（株） 化学研究所 創薬研究センター

担当：中谷 昌央、玉井 龍二

TEL: 0538-58-0141 FAX: 0538-58-1564

E-mail: pesticide-design_33@kumiai-chem.co.jp

送金方法：

参加登録費は、下記口座に参加申込み受付締切日までにご
入金ください。

スルガ銀行磐田支店（店番号820）

口座番号：普通 3606315

口座名義：第33回農薬デザイン研究会

※同一の公的機関、企業で複数名参加の際は、全員の所属、
氏名を明記の上、1枚の振込用紙にまとめてご送金くだ
さい。尚、勝手ながら振込用紙の控えをもって領収書とさせ
ていただきます。

※申込み締め切り後のキャンセルは受付致しかねますので、
ご了解ください。

※ご不明な点がございましたら事務局までE-mailにてお問
い合わせください。

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」出版のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q & A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ねてまいりましたが、この度、改訂4版を上梓する運びとなりましたのでお知らせします。改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です（送料別）。

購入申込み方法：

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数（FAX申込みの場合はFAX番号）等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書（送料を含む）を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

FAX: 03-5980-0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

学会HP : http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html

補助金制度のご案内

日本農薬学会では、会員の皆様の農薬科学研究の推進にお役立ていただく目的で、国際会議等海外渡航経費補助、研究会等開催経費補助等の各種補助金制度を設けています。ご希望の方は、ホームページの会員のページ（<http://pssj2.jp/inside/hojokin.html>）をご参照いただき、ご応募下さい。

【予告】農薬科学研究奨励金

日本農薬学会では、農薬科学研究の支援を目的として、特に競争的資金の獲得が難しい研究課題や研究者の方々にも利用して頂けるよう農薬科学研究奨励金の交付を行っています。今年度も平成31年度交付分の募集を9~11月に予定していますので、応募をお考えの皆様には是非前もってご準備下さい。詳細な応募要件等は、後日正式に決定次第、ご案内いたします。

過去の採択課題：http://pssj2.jp/inside/past_grant.html

次期役員候補者の推薦受付について

本会役員選出規定に基づき、正会員、名誉会員、終身会員、学生会員は次期（平成31年4月1日～33年3月31日）の役員候補者を推薦することができます。推薦する場合は、役員選出規定（特に該当する部分を以下に抜粋しています）をご参照のうえ、候補者名を平成30年9月20日(木)(必着)までに本会選挙管理委員会に文書で届けて下さい。届出文書様式は任意としますが、必ず推薦者本人の署名捺印を必要とします。なお、会則および規定の全文は農薬誌第42巻第2号および学会ホームページに掲載していますので、併せてご参照ください。

推薦に際して候補者が会員かどうかをお知りになりたい場合、ホームページから会員名簿を閲覧することができますので、ご利用ください。なお、正確を期したい場合は学会事務局までお問い合わせください。

送付・問い合わせ先：〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

日本植物防疫協会内

日本農薬学会選挙管理委員会

TEL: 03-5980-0281

学会ホームページ：<http://pssj2.jp/>

会 則（抜粋）

第15条 会長、副会長1名、評議員70名および監事は、正会員、名誉会員、終身会員、学生会員の互選による。

第17条 役員の任期は、2年とする。ただし、会長は重任することができない。

役員選出規定（抜粋）

4. 会則第15条および本規定に定める会員とは、役員任期満了の前年の5月31日現在の会員とする。
5. 会員は10名以上の連署により、会長1名、副会長1名、監事2名以内の候補者を推薦することができる。また、会員は評議員候補者2名以内を推薦することができる。

平成31・32年度日本農薬学会役員選挙について

平成30年10月に平成31・32年度日本農薬学会役員選挙が実施される予定です。今回からは、インターネットを利用したWebシステムによる投票のみとなります。なお、本会規定により、本年5月31日の時点で今年度の会費を納入していない方には選挙権・被選挙権が認められませんので、ご留意ください。

日本農薬学会選挙管理委員会
(学会事務局)

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10 日本植物防疫協会ビル5階

TEL: 03-5980-0281

FAX: 03-5980-0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

日本農薬学会第44回大会の御案内

日本農薬学会第44回大会を平成31年3月11日(月)から3月13日(水)までの3日間にわたって愛知県名古屋市の名城大学(天白キャンパス)にて開催いたします。本会会員ならびにご関心をお持ちの皆様には、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。植物防疫関係2学会(日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会)および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方は、例年通り、本学会会員扱いとなりますので、お近くの学会員の方にも参加・発表をお誘いいただければ幸いです。また、非会員の方のご参加も歓迎いたします。

大会関係の記事は、PSSJ News Letterにてご案内致しますが、詳細は、大会ホームページで随時お知らせいたしますので、ご確認下さい。

I. 開催場所および日時

- ・2019年3月11日(月)：総会、学会賞授賞式、受賞講演、特別講演、懇親会、受賞祝賀会
会場未定

- ・2019年3月12日(火)～13(水)：一般講演、シンポジウム、ランチョンセミナー、展示会

『名城大学 天白キャンパス 共通講義棟南』

<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/tempaku.html>

新幹線ご利用の場合は、JR・地下鉄「名古屋駅」から地下鉄東山線で「伏見駅」乗り換え、地下鉄鶴舞線で「塩釜口駅」下車(所要時間約30分)。塩釜口駅から大学まで徒歩約15分。

中部国際空港をご利用の場合は、名鉄「中部国際空港駅」から名鉄常滑線・空港線で「金山駅」乗り換え、地下鉄名城線で「鶴舞駅」乗り換え、地下鉄鶴舞線で「塩釜口」下車(所要時間約1時間20分)。塩釜口駅から大学まで徒歩約15分。

小牧空港をご利用の場合は、「小牧空港」から空港バスで「名古屋」下車、地下鉄「名古屋駅」から地下鉄東山線で「伏見駅」乗り換え、地下鉄鶴舞線で「塩釜口駅」下車(所要時間約1時間10分)。塩釜口駅から大学まで徒歩約15分。

II. プログラム（案）

2019年3月11日(月)～13日(水)

| 月・日 | 午前 | 昼 | 午後 | 会場 |
|----------|-------------------|-----------|---------------------------|-------------|
| 3月11日(月) | 総会 授賞式 受賞講演 | | 受賞講演 特別講演 懇親会・受賞祝賀会 | 未定 |
| 3月12日(火) | 一般講演 | ランチョンセミナー | 一般講演 | 名城大学天白キャンパス |
| 3月13日(水) | シンポジウム | ランチョンセミナー | シンポジウム | 名城大学天白キャンパス |

常任評議員会、評議員会および編集委員会は、3月10日(日)に名城大学天白キャンパスで開催します。詳細については別途ご案内します。

日本農薬学会第44回大会における広告、展示およびランチョンセミナー募集のご案内

日本農薬学会第44回大会が下記の日程・会場で開催されます。つきましては、講演要旨集への広告の掲載、展示会への出展、およびランチョンセミナーの開催等でご支援を賜りたいと考えております。各応募の詳細および申込先等につきましては学会ホームページ (<http://pssj2.jp/congresses/44/taikai44.html>) に掲載しております。本大会の成功のために、何卒ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日 程：2019年3月11日(月)～3月13日(水)

会 場：名城大学 天白キャンパス（愛知県名古屋市）

日本農薬学会第44回大会組織委員会委員長

名城大学 農学部 田村 廣人

〈申し込み・問い合わせ先〉

日本農薬学会第44回大会組織委員会事務局長

名城大学 農学部 村野 宏達

TEL: 052-838-2437

E-mail: murano@ccalumni.meijo-u.ac.jp

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp